五十周年記念シンポジウム（報告）, 受贈図書,
平成十三年度国文学科講義題目, 学報,
国文学科平成十二年度行事, 執筆者紹介, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://osaka-shoin.repo.nii.ac.jp/records/4654

五十周年記念シンポジウム（報告）

平成十二年十月二十八日（土）午後一時より、国文学科五十周年を記念して、「和歌から短歌へ・短歌から和歌を」と題するシンポジウムを開催（於四〇一教室）した。

○基調講演　安田純生（白珠・本学教授）

大和田建樹は『歌まなび』において、歌は「美麗・上品・高大」であらねばならぬと唱え、「俗語・卑語・漢語・外来語など」の使用を禁じた。だが、近代短歌は「美麗・上品・高大」もよいが、それ以外もよしとする。また、俗語も卑語も、口語・外来語などの使用も可とする。和歌に存在したさまざまな制度を否定したところに近代短歌は成立している。しかし、完全に否定しきれないところにその矛盾も見え、この矛盾の克服が現代短歌の荷う課題でもあろう。

○パネリスト

樑原　聰（ヤママユ）

記紀歌謡に見えた「集団性」が、『万葉集』から勅撰集へと時代を経るにつれて、徐々に「個人的要素」が見えはじめた。そして、現代短歌に至っては共同体的なものが消え去り、個人的な小さなものになってしまった。現代短歌は隆盛しているものの、活力に欠けている。いまひとたび、近代までの共同体意識を考えなおしたいものである。

香川ヒサ（好日）

古典短歌 → 理解できないもの

近代短歌 → 理解できるもの

という形で考えてみると、案外納得のいくものであろう。古典和歌には「なつかしさ」は感じるものの、そこに戻ることは叶わない。だから、古典和歌は理解できないものと感ずるのであって、明治以降の和歌の近代化によって「短歌」になったことに、その原因がある。つまり、正岡子規が歌を大きく変化させたのであって、しかも、子規の引いたレールからのがれることが出来ないのである。

黒川三千代（未来）

古代和歌は、読者としては「なぐさめ」になる。しかし、作者としては自我意識が強いために、古典和歌に帰ることは出来ない。読者として近代短歌に対する時、我々は「個」からのがれること

ができず、個人の「生」を照らしあわせて読む。つまり、「年譜読み」をすることによって、近代短歌を読み進むことがより可能となるのである。

以上、御高説の中でもとりわけ印象深く拝聴したところをもって、まとめとさせていただいた。至らぬ点は御海容賜われば幸甚である。

一般参加者も多数見え、盛会のうちに午後四時すぎをもって終えることが出来たのは、ひとえに安田純生教授はじめパネリストの方々の御尽力によるものであった。我々一同、心より御礼申し上げる次第である。

ただ、いま少し本学学生の参加があればと、その点がいささか残念であった。

（文責・西木　忠一）

受贈図書

（平成12年10月～13年9月）

国文学40号　愛知大学
国語国文学報59号　愛知教育大学
国語研究9号　愛知教育大学大学院
日本文化論叢9号　愛知教育大学
淑徳文芸13・14号　愛知淑徳短期大学
国文学科報29号　跡見学園女子大学
青山語文31号　青山学院大学
緑岡詞林25号　青山学院大学院生の会
文芸論叢37号　文教女子短期大学
別府大学国語国文学42号
梅花日文論叢9号　梅花女子大学大学院
梅花女子大学文学部紀要34号
中央大学国文44号
紀要（文学部）87・88号　中央大学
中京国文学20号　中京大学
日本文学研究40号　大東文化大学
日本文学論集25号　大東文化大学大学院
同志社国文学53・54号　同志社大学
同志社女子大学日本語日本文学13号
駒木原国文12号　江戸川女子短期大学
愛媛国文と教育33号　愛媛大学
藤女子大学国文学雑誌65号
文献ジャーナル最終号　富士短期大学
香椎潟46号　福岡女子大学
文芸と思想65号　福岡女子大学
国語国文学会誌44号　学習院大学
ことば21号　現代日本語研究会
国語国文学28号　岐阜大学
国語国文学20号　岐阜聖徳学園大学
群馬県立女子大学紀要22号
群馬県立女子大学国文学研究21号
花園大学国文学論究28号
日本語教育学科紀要11号　広島大学
国文学攷167～170号　広島大学
古代中世国文学16号　広島平安文学研究会
広島女学院大学日本文学11号
国語国文学誌30号　広島女学院大学
日本文学誌要63・64号　法政大学
言語表現研究17号　兵庫教育大学
国語国文研究117・118号・総索引　北海道大学
学園論集105～109号　北海学園大学
十文字国文7号　十文字学園女子短期大学
上智大学国文学論集34号　上智大学
国文学科紀要18号
実践国文学58・59号　実践女子大学
歌子9号　実践女子短期大学
香川大学国文研究25号
語学・文学研究28号　金沢大学
国文学81・82号　関西大学
日本文芸研究52巻2・3・4号、53巻1号　関西学院大学
活水日文40・41号　活水学院
金城国文77号　金城学院大学
金蘭国文5号　金蘭短期大学
近畿大学日本語・日本文学3号
京都大学国文学論叢5・6号
駒沢国文38号　駒沢大学
論輯28・29号　駒沢大学
駒沢短大国文31号　駒沢短期大学
女子大国文128・129号　京都女子大学
国文論叢30号　神戸大学
国文学研究ノート35号　神戸大学
神女大国文12号　神戸女子大学
山手国文論攷22号　神戸山手女子短期大学

国文学研究資料館紀要27号
国文学研究資料館報56・57号
共同研究報告書　平8・10・11・12年度版　国文学研究資料館
高知大国文31号
親和国文35号　神戸親和女子大学
文林35号　神戸松蔭女子学院大学
研究紀要38号　光華女子大学
光華日本文学8号　光華女子大学
古典遺産51号　古典遺産の会
古典論叢27号　古典論叢会
国学院大学紀要39号
国学院雑誌101巻6～12号、102巻1～5号
国学院大学栃木短期大学紀要35号
野洲国文学66・67号　国学院大学栃木短期大学
滝川国文17号　国学院女子短期大学
滝川文芸12号　国学院女子短期大学
日本研究21～23号　国際日本文化研究センター
甲南国文48号　甲南女子大学
国語国文学研究36号　熊本大学
方位22号　熊本近代文学研究会
熊本県立大学国文研究46号
国文橘27号　京都橘女子大学
語文研究90・91号　九州大学
明治大学日本文学28号
国語国文学10号　目白学園女子短期大学
森鷗外記念館館報ミュージアムデータ5号
武庫川国文56・57号　武庫川女子大学
言語文化研究所年報12号　武庫川女子大学
鳴尾説林8号　武庫川女子大学
かほよとり8号　武庫川女子大学大学院
武蔵野日本文学10号　武蔵野女子大学
名古屋近代文学研究18号　名古屋大学
国語国文学87・88号　名古屋大学
名古屋平安文学研究会会報26号
会報・名古屋方言研究会18号
中原中也研究5号　中原中也記念館
並木の里53・54号　金子正真
南山大学日本文化学科論集創刊号
叙説28号　奈良女子大学
新潟大学国文学会誌43号
日本文芸学37号　日本文芸学会
文芸研究148・149号　日本文芸研究会
文体論研究47号　日本文体論協会
語文108～110号　日本大学
国文目白40号　日本女子大学
近代文学論集25号　日本近代文学会
二松15号　二松学舎大学
二松学舎大学人文論叢65号
清心語文3号　ノートルダム清心女子大学
帯広大谷短期大学紀要38号
国文94・95号　お茶の水女子大学
国文論稿29号　岡山大学
大阪青山短大国文17号
人文学論集19号　大阪府立大学
女子大文学52号　大阪女子大学
上方文化研究センター研究年報2号
文学史研究41号　大阪女子大学
人文研究52巻3号　大阪市立大学
城南国文21号　大阪城南女子短期大学
学大国文44号　大阪教育大学
国語と教育26号　大阪教育大学
日本アジア言語文化研究6・7号
大谷女子大国文31号　大阪教育大学
日本文学論叢7号　大谷女子大学
大谷女子大学大学院

大妻国文32号　大妻女子大学
大妻女子大学大学院文学研究科論集11号
大妻女子大学紀要33号
立教大学日本文学85・86号
論究日本文学73・74号　立命館大学
日本言語文化研究3号　龍谷大学
国文学論叢46号　龍谷大学
日本東洋文化論集7号　琉球大学
佐賀大国文29号
相模国文27号
相模女子大学
成城国文学17号　成城大学
成蹊大学文学部紀要36号
成蹊国文34号　成蹊大学
成蹊人文研究9号　成蹊大学
専修国文67～69号　専修大学
滋賀大国文39号
国語教育論叢10号　島根大学
島根国語国文11号　島根女子短期大学
国文白百合32号　白百合女子大学
抄物の研究11～13号　抄物研究会
創造と思考11号　湘南短期大学
文学研究16号　聖徳大学短期大学部
日本文学紀要12号　昭和女子大学大学院
相愛国文14号　相愛女子短期大学
上林暁研究9号　園田学園女子大学
近松研究所紀要11号　園田学園女子大学
就実語文21号　就実女子大学
椙山国文学25号　椙山女学園大学
高岡市万葉歴史館紀要11号
帝京国文学7号　帝京大学
山の辺の道45号　天理大学
帝塚山大学短期大学部紀要38号
日本文学研究32号　帝塚山学院大学
国語学研究40号　東北大学
日本文芸論叢13・14号　東北大学
東海学園国語国文58・59号
常葉国文25号　常葉学園短期大学
徳島文理大学文学論叢18号
徳島文理大学比較文化研究所年報17号
徳島大学国語国文学14号
学芸国語国文学33号　東京学芸大学
東京女子大学日本文学94・95号
人文学報320号　東京都立大学
論樹14号　東京都立大学大学院
日本文学研究会会報16号　東洋大学短期大学
東洋大学短期大学論集37号
短期大学紀要32号　東洋大学短期大学
文学論藻75号　東洋大学
日本語と日本文学31～33号　筑波大学
文芸言語研究言語篇38・39号　筑波大学
文芸言語研究文芸篇38・39号　筑波大学
筑波大学平家部会論集8号
国文学論考37号　都留文科大学
都留文科大学大学院紀要5号
鶴見大学紀要38号　鶴見女子大学
国文鶴見35号　鶴見女子大学
鶴見日本文学5号　鶴見大学大学院
国文学研究132～134号　早稲田大学
学術研究49号　早稲田大学
和洋国文研究36号　和洋女子大学
大和物語研究1号　大和物語輪読会
王朝細流抄5号　安田女子大学大学院
国語国文学論集31号　安田女子大学
横浜国大国語研究19号
與謝野晶子研究137～142号　入江春行

平成十三年度国文学科講義題目

国文基礎購読	北村　英子	中世・太平記
国文基礎購読	谷垣伊太雄	近世・芭蕉のキーワード
国文基礎購読	堀　信夫	近世・説経の作品研究
国文基礎購読	檀原みすず	近代・魯庵と四迷
国文学概論A	西木　忠一	日本語学特殊講義（古典語）
国文学概論B	高橋　和幸	日本語学特殊講義（現代語）
国文購読AⅠ・AⅡ	安田　純生	日本語表現論（書きことば）
国文購読AⅠ・AⅡ	西木　忠一	日本語表現論（話しことば）
国文購読AⅠ・AⅡ	中　周子	日本語学（古典語）
国文購読BⅠ・BⅡ	田中　宗博	日本語学（現代語）
国文購読BⅠ・BⅡ	砂川　博	日本語文法（古典語）
国文購読BⅠ・BⅡ	肥留川嘉子	日本語文法（現代語）
国文購読CⅠ・CⅡ	高橋　和幸	日本語学（現代語）
国文購読CⅠ・CⅡ	木村有美子	一般言語学
国文購読CⅠ・CⅡ	仲　秀和	対照言語学
国文学史概説（古代）	北村　英子	音声言語学
国文学史概説（中世）	谷垣伊太雄	日本語の音声と音韻
国文学史概説（近世）	中林　円	社会言語学
国文学史概説（近代）	木村有美子	言語生活
国文学特殊講義		演習2Ⅰ・2Ⅱ
古代・文学語彙	北村　英子	演習2Ⅰ・2Ⅱ
		演習2Ⅰ・2Ⅱ
		演習2Ⅰ・2Ⅱ
		谷垣伊太雄
		堀　信夫
		肥留川嘉子
		木村有美子
		秋本　守英
		大和シゲミ
		西端　幸雄
		田原　広史
		中村　一夫
		田原　広史
		志甫由紀恵
		有田　節子
		田原　広史
		村上　敬一
		村上　敬一
		大和シゲミ
		村上　敬一
		村上　敬一
		中　周子
		西木　忠一
		北村　英子
		谷垣伊太雄
		演習2Ⅰ・2Ⅱ
		演習2Ⅰ・2Ⅱ
		演習2Ⅰ・2Ⅱ
		演習2Ⅰ・2Ⅱ
		演習Ⅲ（私家集の研究）
		演習Ⅲ（源氏物語・賢木）
		演習Ⅲ（中古の文学・枕草子春曙抄）
		北村　英子
		演習Ⅲ（中世文学Ⅰ）
		谷垣伊太雄
		演習Ⅲ（古代文学・和歌文学A）
		安田　純生
		演習Ⅲ
		檀原みすず
		演習Ⅲ（音声言語学）
		田原　広史
		演習Ⅲ（日本語学）
		西端　幸雄
		演習Ⅳ（中古の文学）
		西木　忠一
		演習Ⅳ（中古の文学）
		北村　英子
		演習Ⅳ（中世文学Ⅱ）
		谷垣伊太雄
		演習Ⅳ（古代文学・和歌文学Ⅱ）
		安田　純生
		演習Ⅳ（近代文学）
		檀原みすず
		演習Ⅳ（音声言語学研究）
		田原　広史
		演習Ⅳ（日本語学研究）
		西端　幸雄
		東洋思想史A・B
		井上　了
		比較文学A・B
		柏木　隆雄

西洋古典語　佐藤　義尚
話しことば　尾崎　千秋
創作と鑑賞（韻文）（散文）　安田　純生
映像文化論A・B　山本　和明
漢文学及び漢文学史　井上　了
漢文講読A・B　西木　忠一
漢字書法A・B　宮崎　彰夫
仮名書法A・B　宮崎　彰夫
書道B　宮崎　彰夫
中国書道史・日本書道史　松本　宏揮
日本語の歴史・日本語学史　秋本　守英
日本語教育学　有田　節子
日本語教育学　松本恵美子
日本語教育事情　有田　節子
日本語教育事情　松本恵美子
日本語教授法　有田　節子
日本語教授法　長谷川ユリ
日本語教材論　有田　節子
日本語教材論　長谷川ユリ
日本語の語彙と意味　志甫由紀恵
日本語の文字と表記　志甫由紀恵

学　報

人　事

（退　職）

教　授　嘉部　嘉隆
教　授　安田　純生
研究室員　岡田　佳子
研究室員　片平　康子
研究室員　北川　淑恵

（異　動）

人間科学部へ
教　授　石川　真弘
日本文化史学科へ
助　手　池田　良子
樟蔭女子短期大学より
教　授　中　周子
助　教　授　高橋　和幸
助　教　授　檀原　みすず
学生部就職課より
助　手　岡嶋　幸子
児童学科より
研究室員　喜田　美智子

国文学科　平成十二年度行事

4月3日　平成十二年度入学式
4月26日・27日　新入生学外オリエンテーション（伊勢・伊賀上野）
5月19日　第十二回公開授業開始
7月20日　キャンパス見学会
7月31日　『会報』44号発行
9月3日　キャンパス見学会
9月30日　九月卒業式
10月17日　学芸学部特別推薦入学試験（外部）
10月20日　『樟蔭国文学』第38号発行
10月28日　国文学科五十周年記念シンポジウム
11月2日　国文学科同窓会
11月8日・9日　第四十回国語国文学会総会
12月2日　学芸学部推薦入学試験
12月8日　文学散歩（天理図書館・石上神社）
12月25日　公開授業最終回
1月15日　学芸学部特別推薦入学試験（内部）
1月20日・21日　卒業論文提出締め切り
2月2日～4日　センター入学試験
2月27日・28日　学芸学部入学試験（前期）
3月14日　学芸学部入学試験（後期）
3月15日　平成十二年度卒業式（一三三名）
謝恩会（大阪ヒルトンホテル）

執筆者紹介

中　周子　本学教授

谷垣伊太雄　本学教授

蜷川恭子　本学国文学科
平成十二年三月卒

福元亜樹　本学国文学科
平成十三年三月卒

稲岡さくら　本学国文学科
平成十三年三月卒

樟蔭国文学　第三十九号

平成十三年十二月二十日発行

編集者　大阪樟蔭女子大学
国語国文学会
（代表者　谷垣伊太雄）

印刷所　大阪市都島区片町二丁目九番九号
株式会社　ミラテック
電話　〇六（六三五四）三〇八一

発行所　東大阪市菱屋西四丁目二番二六号
大阪樟蔭女子大学国文学研究室内
大阪樟蔭女子大学
国語国文学会
電話　〇六（六七二三）八一八一
五七七―八五六〇

14. 2. 12